

GE-3-i-01	<b>D ロジカルライティング</b>	第3学年	後期 選択必修	1.5単位
<b>担当者</b>	重野 豊隆			
<b>一般目標 (GIO)</b>	大学生としての「主体的学び」をより徹底して実践するために、ロジカル・シンキング及びクリティカル・シンキングの力を向上させ、それに基づいたロジカル・ライティングの力を身に付ける。			
<b>到達目標 (SBOs)</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 資料の内容から必要な情報を選択し、それを論理的に要約することができる。</li> <li>2. 資料の内容について批判的に考えることができる。</li> <li>3. 考えたことを論理的にまとめ、相手に分かり易い形で書くことができる。</li> <li>4. 自分とは異なった見解を持つ者と、発展的な意見交換や討論ができる。</li> </ol>			
<b>受講心得・準備学習等</b>	下記の項目や内容は予定テーマであり、学生の習熟度に応じて進み方や内容を一部変更することがある。毎回小論文を論述してもらい、返却された小論文は書きなおして再提出してもらう。習得が不十分な内容がある学生には、課題を与え1時間以上の予習を前提とすることも。個別にプレゼンテーションを希望する学生にはその機会を与えることとする。			
<b>事後学習・復習等</b>	小論文で論述した内容が不十分だった点について1時間以上の復習を前提とする。授業で取り扱った内容を定着させるために、授業終了後も他の学生との意見交換を積極的に行う習慣を身につけること。			
<b>オフィスアワー</b>	授業のある金曜日 17:10-18:30。			

### 授業の形式と各回の内容

授業の形式		講義形式、演習(小論文作成)とSGDの実施
回	項目	内容
1	ガイダンス	具体的テーマと評価の具体的基準など
2	ロジカル・シンキング(1)	必要な情報を選択する。
3	ロジカル・シンキング(2)	必要な情報のポイントを要約する。
4	ロジカル・シンキング(3)	主張を根拠づける。事実と主張とを区別する。報告文と小論文とを区別する。
5	クリティカル・シンキング(1)	前提や立論観点の相違を理解する。立場や価値観の相違を理解する。
6	クリティカル・シンキング(2)	批判の論理の多様性を理解する。反論の仕方の多様性を理解する。
7	SGD(1)	資料の内容について論理的かつ批判的に討論する。
8	まとめ(1)	ロジカル・シンキングとクリティカル・シンキングを効果的に活用する。
9	ロジカル・ライティング(1)	論文を書く。しっかりとした主張とその論拠を述べる。
10	ロジカル・ライティング(2)	書くべき内容を整理する。内容を構造化する。
11	ロジカル・ライティング(3)	論文を構成する。論文構成の多様性を理解する。
12	ロジカル・ライティング(4)	読み手を想定する。相手に分かり易い文章を書く。
13	SGD(2)	小論文の内容を書き直し、より説得力が増すような内容になるために討論する。
14	まとめ(2)	ロジカル・ライティングの内容を向上させる。

<b>成績評価の方法</b>	講義を受けての毎回の小論文作成と最終論文提出。
<b>成績評価の基準</b>	小論文が70%、最終論文が30%。プレゼンテーションの評価は小論文に含めることとする。合計点が60%以上を合格とする。
<b>教科書</b>	使用しない。
<b>参考書など</b>	授業の中で適宜紹介する。